

##見出し

設立30周年を視野に

レーヌマーク10周年で展示会出展を

##本文

ベストウールクラブ(BWC・野村利泰会長)は9月18日、東京・中央区八重洲の日本ふとん製造協同組合(JFMA)会議室で、「第123回定例会」を開催しました。

冒頭、野村会長があいさつに立ち、「来年はBWC結成30周年と『レーヌマーク』発売開始10周年の2つの節目の年を迎える。本日は、この記念すべき年に行う事業について、活発な討議をお願いしたい」と協力を求めました。

定例会は、以下の4つの議題が挙がり審議されました。

【議題①】第122回レビュー＝カネヨウ・勢間氏より報告されました。

【議題②】「レーヌマーク」発売開始10周年について

【議題③】ベストウールクラブ結成30周年について

ベストウールクラブ30周年記念事業としてウール布団の快適性、優位性をデータによる裏付けをもとに再評価をしていき、さらにその結果を展示会に出展して広く発信していくことについて協議を行い、本件を記念事業として進めていくことが決定された。

展示会出展の主な出展内容は以下の通り、

- 1:羊毛ふとんの機能性アピール
- 2:レーヌマーク10周年のアピール
- 3:日本産羊毛を使った羊毛ふとんの開発、提案

具体的な羊毛機能の評価項目としては、・吸放湿性、吸湿発熱性、保温性、難燃性、消臭性、ストレスフリーなどが上げられたが、どこの試験機関において、どんな試験をしていくかについてはまだ確定せず。公的試験機関に、一度投げかけ等をして試験内容、コストなどについても今後詰めていくこととなった。

また、同事業を進めるにあたり、実行委員会を別途設置することの必要性が認められたが、その設置については12月の次回定例会にて決定することとなった。

その後、クリプトン浅野社長より個別の展示会の特徴や傾向、また予算、出展時期などについて説明を頂いた。

今後の試験データ取りなども考慮し、2015年9月に開催される「ギフトショー」出展をひとつのターゲットとしていくこととなった。

【議題④】賛助会員より情報提供

賛助会員より(名川織商:羊毛、カネヨウ:羽毛、帝人:ポイエステル)、原料相場、最新状況について、報告を行った。

なお、次回例会は、12月11日(木)に開催する予定です。

「第123回定例会」は、浅黄利洋会計監事代理より「閉会の辞」で、滞りなく終了しました。